

農業と地域の未来をずっと応援していきます

ひびきの

8

2022
No.208



特集

●自己改革のさらなる実践

 JA埼玉ひびきの


JA埼玉ひびきの |

URL: <http://ja-hibikino.jp/>

目次 CONTENTS

★JA埼玉ひびきのSDGs 取組決議

JA埼玉ひびきの、令和3年3月の理事会で「持続可能な食料の生産と地域農業の振興、農を中心とした豊かな地域づくり」に向けて独自のSDGs取組決議を行いました。今後もJAグループ組織を通じて積極的な働きかけを行ってまいります。




「笑味(えみ)ちゃん」
JAグループでは、国産農畜産物の活用・購入を推進する「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。

ひびきの8月号 2022 No.208

2 …… コンテンツ／事業概要／ 理事会報告(6月・7月)	12 …… 生き生きWOMEN女性部
3 …… 特集 自己改革のさらなる実践 選果場竣工式 他	13 …… 営農技術情報
4～5 …… 令和4年度総代会アンケート集計 結果について	14 …… 法律相談Q&A
6～9 …… HIBIKINOニュース&トピックス	15～17 …… JAインフォメーション
10～11 …… ひびきの広場	18 …… ひびきの通信
	19 …… クロスワードパズル
	20 …… アガベフェロックスギガンティア開花! 常勤役員のよもやまトーク・編集後記

表紙の紹介

今月号の表紙の人は、上里町金久保の^{まつざきともかず}松崎智和さんです。松崎さんは奥様、ご長女ご長男の4人家族で実家のすぐ裏に新居を構えています。

松崎さんは、食品会社の工場長などを歴任されておりましたが、4年前に家業を継ぐために就農いたしました。現在はご両親、弟さんと4人で米20ha、麦30ha、ブロッコリー70aを耕作されています。将来の農業像については、更なる機械化を進めて労働力を軽減し、現在の耕作面積の維持・拡大に繋げて行き、地域の担い手として上里町の農業を支える柱の1本になれればと話されました。

また、ゴルフが趣味で年間20回くらい栃木県や群馬県方面プレーに行かれるそうです。これから先、農業と趣味のゴルフに頑張っていただけたらと思います。

事業の概要

令和4年6月30日現在

貯金残高	1,558億5,850万円
貸出金残高	214億7,079万円
長期共済保有高	2,968億4,068万円
販売品取扱高	17億8,573万円
購買品取扱高	9億3,895万円
出資金残高	20億1,828万円

理事会報告

令和4年6月22日(水)開催

協議事項

- (1) 理事報酬の配分について
- (2) 行政庁へ提出する業務報告書の承認について
- (株)JAひびきのファームへの役員派遣について
- (4) 役員賠償責任保険の契約更新について
- (5) 自己改革専門委員会の開催について
- (6) 資産査定要領の一部変更(案)について
- (7) JAバンク埼玉中期戦略(2022～2024年度)に基づく信用事業戦略シート(案)について
- (8) 夏季賞与の支給について

報告事項

- (1) 埼玉県常例検査について
 - (2) 組合員の加入及び脱退の状況について
 - (3) 令和3年度基準の財務モニタリング報告について
 - (4) JAバンク基本方針に基づく体制整備モニタリング報告について
 - (5) 令和4年度5月相談・苦情およびコロナ定期報告について
 - (6) 貸出金災害緊急対応要領について
 - (7) 令和4年6月2日の降ひょう被害状況について
 - (8) 令和4年度5月末事業実績等について
 - (9) その他
- 第4回定例理事会の開催について
日時：令和4年7月28日(木)
午後1時30分
場所：本店2階 役員会議室

理事会報告

令和4年7月28日(木)開催

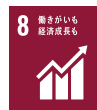
協議事項

- (1) 2022ディスプレイジャー誌の発行について
- (2) 令和4年度上期自己改革地区別説明会の開催について
- (3) 総代会アンケート実施結果及び今後の対応について
- (4) コンプライアンスマニュアルの一部変更(案)について

報告事項

- (1) 令和3年度内部監査に関する品質評価結果について
 - (2) 組合員の加入及び脱退の状況について
 - (3) 早期警戒制度に基づく収支シミュレーションについて
 - (4) 事務リスク管理規定の改定について
 - (5) 令和4年度6月相談・苦情およびコロナ定期報告について
 - (6) 令和4年度第1四半期の疑わしい取引届出状況報告について
 - (7) 当組合の有価証券運用方針について
 - (8) 令和4年度第1四半期余剰金運用状況報告及び令和4年度第2四半期余剰金運用計画について
 - (9) (株)JAひびきのファーム6月末実績について
 - (10) 令和4年度6月末事業実績等について
 - (11) その他
- 第5回定例理事会の開催について
日時：令和4年8月26日(金)
午後1時30分
場所：本店2階 役員会議室

◆本庄一元胡瓜部会 選果場竣工式を挙げる◆



本庄一元胡瓜部会（福田武久会長）は6月11日にJ A本庄営農経済センター敷地内にて選果場竣工式を挙行し、部会代表・J A役員ら関係者32名が出席しました。

選果場の整備は部会有志による要望が端緒となり、臨時総会での意思統一を経て令和3年に導入計画を立ち上げました。J Aでは部会・関係業者らとの協議を重ね、設立準備委員会の設置、自主運営方式の提案を行い、今回の導入に漕ぎつきました。

福田会長は竣工式の挨拶で「皆さまからの多大なご協力を受けて、ようやく選果場の完成に至った。選果機導入によって産地の拠点として盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。塩谷組合長は「生産者の皆さまのご努力により導入が実現した。農業者所得の増大と農業生産拡大のため、活性化のエンジンになれば」と今後の稼働に期待を寄せました。

同選果場では本格稼働によって日量2,000ケースの処理を見込んでいます。



竣工式テープカット風景

◆飼料用トウモロコシ(サイレージ用)播種◆



J Aは、6月29日、美里町で飼料用トウモロコシ（サイレージ用）播種を行いました。

J A埼玉ひびきの管内は、主穀作・園芸作物を中心に栽培が行われていますが、担い手不足等により年々遊休農地が拡大している課題があります。

J A埼玉ひびきでは、持続可能な農業生産基盤と遊休農地解消対策及び輸入飼料の価格急騰により国産粗飼料増産への機運が高まる中、埼玉県農業技術研究センター・J A全農埼玉県本部の協力を得ながら、美里町にある休耕田30aを活用し、試験的に飼料用トウモロコシ（サイレージ用）の播種を行いました。

担当の、角谷明春営農販売課長は「今回の取組は、遊休農地対策や耕畜連携対策のヒントとなれば」と話しました。

飼料用トウモロコシは11月に収穫予定で、ロールにして管内酪農家へ供給を予定しています。



トラクターに播種機を接続し作業にあたる職員

総代アンケート実施結果に基づく今後の対応について

17



アンケート実施期間 : 令和4年6月10日(金)～21日(火)まで延べ12日間
アンケート対象者数 : 総代563名 (定数567名中4名欠員)
アンケート回収率 : 83.1% (563名中468名回答)

第24回総代会招集通知の送付に合わせて総代アンケートを実施したところ、8割近い総代の方から回答と意見要望があり、関心の高さを知ることができました。

現在の総代任期は令和3年10月～令和6年9月までとなっておりますが、組合員の高齢化やJA離れが進む中、アンケートを通じて、次期改選を見据えた対応を早期段階で検討することが急務となっております。JAではアンケートを通じて得られた課題を整理し、9月に開催される自己改革地区別説明会において、内容をフィードバックすると共に、総代の皆さまと共に検討を行ってまいります。

課題1：総代の役割について

9割以上の方が「前任者からの依頼」または「地区内の輪番」といった慣例に基づき就任している(質問1)実態が分かりました。また半数近くの方が「農産物を出荷していない」(質問3)と回答。3割以上の方が「総代の役割を知らない」(質問2)という結果が出ております。

課題2：総代の受け手不足

以前から総代の「受け手」不足について課題となっており、各地区で組織されている農家組合の解散や組合員数減少が進み、ますます後継者選任の環境が厳しくなっております。アンケート結果からも「後継者がいない」「地区内で取り纏める組合員がいない」(質問5)といった声が8割近くに上り、「特に苦勞はしていない」と回答した方は2割以下に留まっています。また地区内の総代定数について3割の方が「分からない」(質問4)と回答をしており、地区の正組合員や総代定数の把握が難しくなっている現状が伺えます。

課題3：総代の意見伝達の機会不足

総代とJAの接点は「営農経済センター」「支店」が中心となっており、主に営農経済センターや支店職員と対話をしている(質問6・8)事が分かりました。またJAの活動について2割の方が無関心(質問7)である状況です。
しかしながら、JAが総代や組合員と対話を行う場の仕組みが未整備、説明会等の周知不足など、総代をはじめとする組合員が直接JAの事業や経営に意見を伝える場が少ないことが原因であり、組合員(総代)の「JA離れ」が加速化することを防ぐためにも「組合員の声」を聴く様々な場を創出することが急務となっております。

課題4：総代(組合員)の期待値とJA事業との乖離

総代(組合員)が期待するJA事業と実態の乖離がアンケート結果(質問9)から分析できます。販売事業・購買事業への関心が比較的高いものの、「期待していない」「期待しない」「無記入」という回答が目立ちました。しかしながら、「全ての事業に期待する」(全ての項目にチェック)と回答しているケースも見受けられ、JAへの関心(期待)は高いことが伺えます。

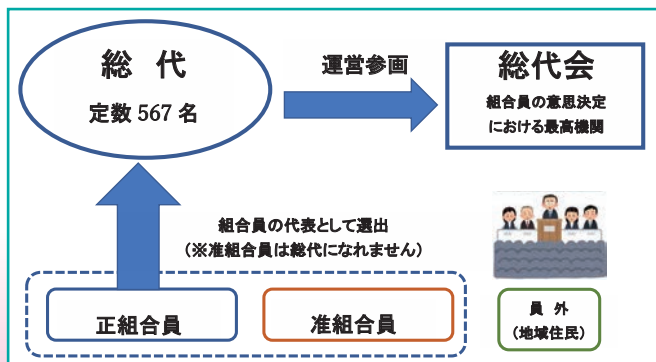
課題5：総代の報酬について

現状について、半数の総代が「適切」と回答しておりますが、4割の総代が「分からない」と回答。「適切だと思わない」と回答した総代は約1割に留まっています。

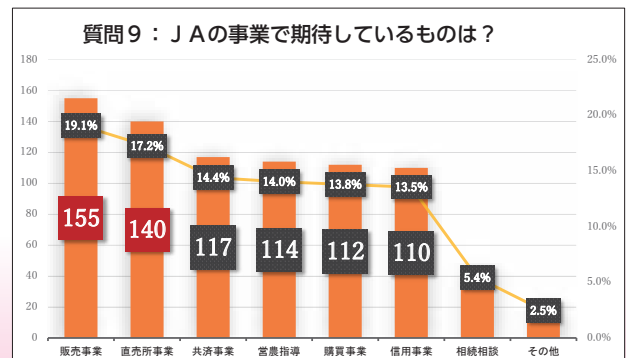
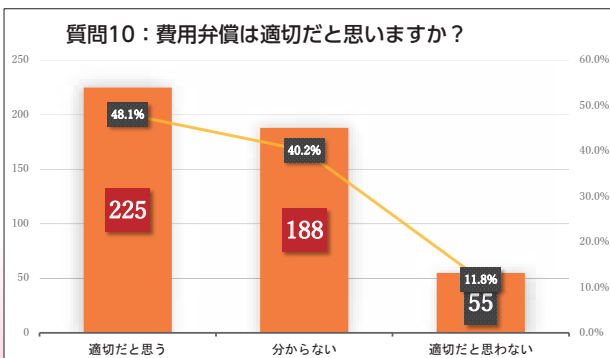
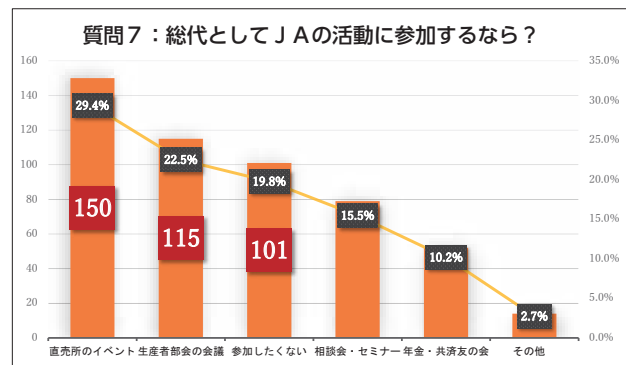
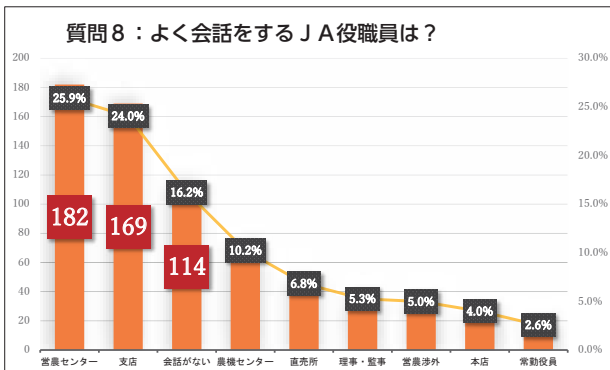
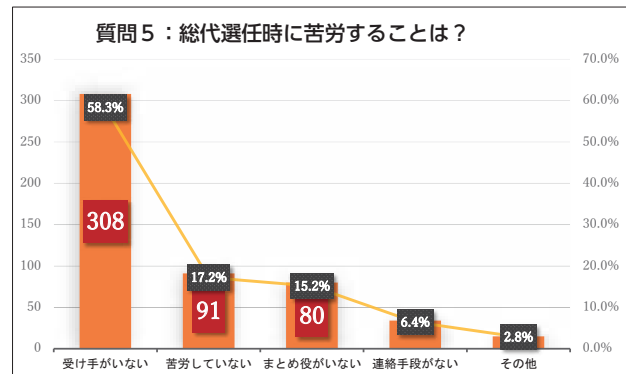
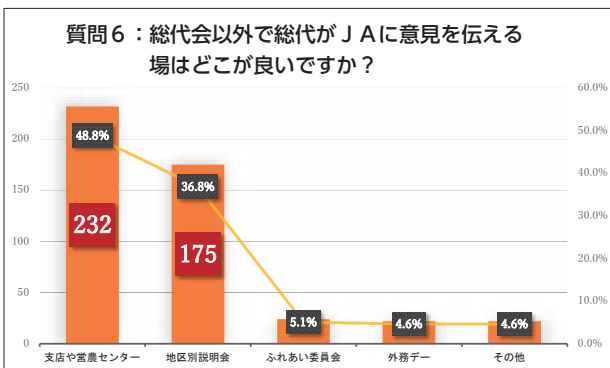
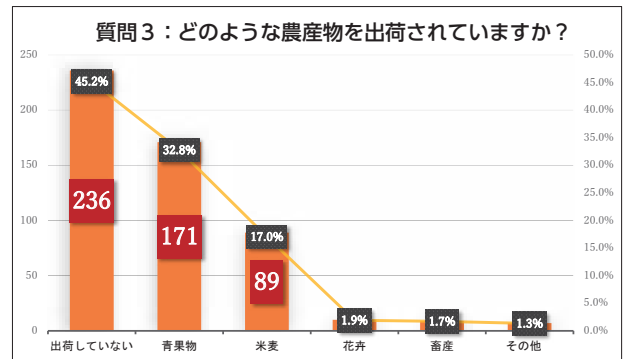
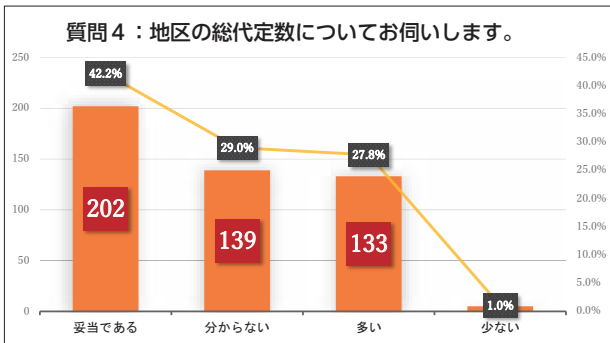
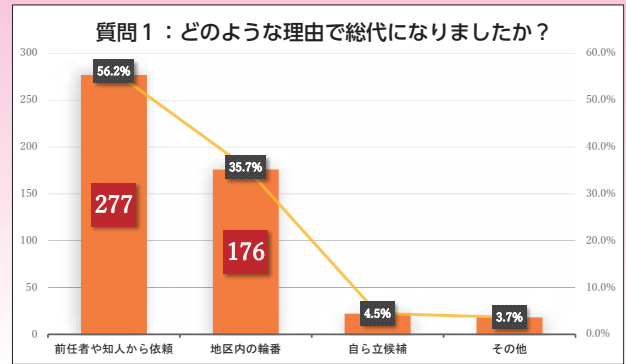
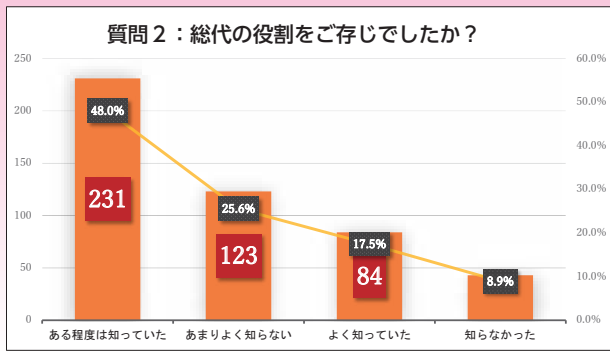
○キーワード「総代」と「総代会」について

総代とは、正組合員の中から選ばれる組合員の代表であり、500人以上の正組合員を持つ組合において、定款の定めるところにより設置することができる任意機関です。

JAへの出資者である組合員にとって事業を利用するとともに運営に参画することは大切な役割であり、組合員の運営参画の場としてもっとも重要なのが総代会です。国にたとえると、いわば国会にあたるところで、組合員の意思を反映し、JA運営の大きな方向性を決める最高機関に位置します。



総代アンケート集計結果



突然の自然災害 雹(ひょう)甚大な被害発生



J A埼玉ひびきでは6月2日の雹被害について緊急会議を招集、対応を協議。被害を受けた範囲は、本庄市、上里町、美里町、神川町と1市3町に及び、J Aは被害状況を確認し緊急対応を実施しています。

被害については、麦の倒伏・ビニールハウス破損・果樹への被害・露地野菜への損害等、莫大な被害が発生しました。

ビニールハウスの所有者は、「張り替えるのに費用がかかるなあ」と肩を落としていました。梨生産者は、「自然災害なので仕方がないが、大切に育てた梨が傷物で商品にならないのが悔しい」と話し、全滅したトウモロコシ生産者は「あと10日くらいしたら出荷できるのにとっても悔しい、予定した収入は見込めないのはとても悲しい」と話しました。



被害を受けた「トウモロコシ畑」
(3日埼玉ひびきの管内)

雹(ひょう)被害応援価格で玉ねぎを販売



収穫を楽しむ参加者

J A埼玉ひびきのは、6月13日、玉ねぎ雹(ひょう)被害応援価格販売を実施し52名が参加しました。

J A管内でも農産物や農業関連施設・住宅・自動車等に甚大な被害を受けました。それを受けて、J Aでは、本庄市児玉地区の生産者の畑から、玉ねぎを、ご自身でネットに直接詰めてお持ち帰りいただく企画を実施しました。

実施内容は、雹被害を受けた玉ねぎを20kg用のネットに詰め放題1000円(税込)で、格安販売としました。

参加者からは「今回の雹(ひょう)で沢山の農産物が被害を受けたと思います。少しでも生産者の応援が出来ればと思います、今回のイベントに参加しました。沢山集めた玉ねぎは、友人などに配りたい」と話してくださいました。

ナス手選別出荷にかかわる

「目揃え会」開催



ひびきの南部選果機利用組合茄子部会(田端耕一部会長)は、6月7日、ひびきの南部選果場で、手選別出荷にかかわる「目揃え会」を開催し生産者を含め30名が参加しました。

市場関係者やJ A担当など参加する中、田端部会長は「降ひょう被害があり我々生産者も大変ですが選果機が動くまで頑張ってお品質を保持していきましょう」と話しました。

市場関係者からは「一生懸命販売しますので宜しくお願ひします」と話がありました。

参加者は、実物を手に取って改めて規格の確認をしていました。



真剣な眼差しで茄子を確認する参加者

トウモロコシの 収穫体験を開催

J Aは、かみかわ館直売所において、7月18日、トウモロコシの収穫体験を開催し、18名が参加しました。

6月2日の雹（ひょう）による被害と、前日の強風と大雨で倒伏したトウモロコシもありましたが、美味しいトウモロコシが実っています。J Aの増田部長は「雹で被害を受けましたが、皆さまには楽しんで収穫して、沢山食べてください」と話しました。

参加者は、畑まで移動し、生産者の方から、収穫方法や収穫時の注意点について説明をうけ、受付で配布されたビニール袋をもって、子供達は大はしゃぎで収穫していました。

中には尻もちをついたり、靴が土の中に埋まってしまう、抜けなくなってしまう人もいましたが、何とか皆さん無事に収穫体験を行うことができました。



とっちゃんいました

参加者にお話を伺うと「昨年は、この場所で、ブロッコリーを収穫しました。J Aさんのイベントは、子供達が楽しみにしていて、今日も自分で採ったトウモロコシを食べるのを楽しみにしています」と話しました。



トウモロコシの収穫体験を開催

J Aは、アグリパーク上里直売所において、7月17日、トウモロコシの収穫体験を開催し、16組49名が参加しました。6月2日の雹（ひょう）により若干の被害を受けましたが、美味しいトウモロコシが実っています。

J Aより五十嵐常務の挨拶があり「本日、皆さまに楽しんで収穫していただくトウモロコシは、粒が黄色いゴールドラッシュと言う種類です。上里町はトウモロコシの産地で、味来など色々なトウモロコシを生産していて、直売所でも販売しているので、食べ比べをしてみてください」と話しました。

その後、生産者の方から、収穫方法や収穫時の注意点について説明があり、受付で配布されたビニール袋をもって隣接する畑に入り、収穫体験を楽しみました。子供達も大はしゃぎで収穫していました。

参加者は「毎年このイベントに参加させていただいて、子供達が自分で採ったトウモロコシを食べるのを楽しみにしています」と笑顔で話しました。

ブルーベリーの収穫体験開催



収穫を楽しむ参加者

J Aは、美里万葉の里直売所において、7月16日、ブルーベリーの収穫体験を開催し、21名が参加しました。

参加者は、徒歩で直売所近くのブルーベリーの畑へ向かい、現地で畑を所収している生産者の方から収穫方法や品種などの説明を受けて、受付で渡された収穫用のパックと籠をもって、収穫を楽しみました。

この畑では現在15種類を栽培していて、7月初め頃から9月中旬まで出荷作業をされています。今、旬を迎えているのは、フェスティバル・ティフブルーなど4種類となっています。前日の雨で足元がぬかるんでいる所もありましたが、参加者は元氣いっぱい畑の中へ進んで行きました。

参加者は、たわわに実ったブルーベリーの粒を1つ1つ選び、そのまま口に運んだり、パックの中に収穫していました。

参加者からは、「いろいろな体験をして、とても勉強になります。自分で収穫した果実や野菜が食卓に上ると、子供からは、これ俺が採ったやつだよ」と、家族の会話も弾みます。これからもJ Aの色々なイベントに参加させていただき、家族の会話も弾みます。これからの機会なので、沢山勉強させていただきます。参加者には、ブルーベリーソースのかかったアイスクリームの無料券や蒸したパンミックスのお土産をお渡ししました。



二人仲良くとったよ



田んぼオーナー制度 田植え体験開催

J Aは、6月19日、田んぼオーナー制度による田植え体験を、オーナー13名・総参加者43名で開催しました。

田んぼオーナー制度とは、田んぼの一部の区画を借りて、期間オーナー（所有者）になる制度で、オーナーになる事で、生産農家が丹精込めて栽培したお米を直接契約・購入できます。お米を味わうだけでなく、田植えや稲刈りなどの農業体験をすることもできます。さらにオーナー特典として、季節の野菜収穫体験や上里町で開催するイベントにご招待致します。

参加者は、東京や神奈川県・埼玉県南部から参加された方が多く、ご家族で参加された方に伺ったところ「子供達に自然と触れ合う貴重な体験をさせる事や、お米を作る大変さを教える事が出来てとてもよかったです」とお話をいただきました。

参加した子供達から感想を聞いたところ、「動くのが大変で泥だらけになって疲れたけど、とても面白かった。自分で植えた稲が大きくなって、早く食べてみたい」と話してくれました。



田植えを楽しむ参加者

小学校の五年生の田植え授業をJA職員がサポート

6月21日、本庄市東富田の田んぼで、本庄市立中央小学校5年生の児童102名が、総合的な学習の時間を使って田植えを体験しました。

田植え体験をした田んぼは、学校近くの植竹章男さんの1・1aの田んぼで、植えた苗は「キヌヒカリ」という品種です。「キヌヒカリ」は絹のように艶やかな米肌で、爽やかな甘味を持っています。

中央小学校より当JAへ指導者の派遣依頼をいただき、担当職員が現地での指導にあたりました。

子供達には、「米作り」について最初に学んでもらいました。そして、実際に農作業を体験する事で、ふだん食べているお米が、どんなふうにならされているのかといった、精米になるまでの流れを体験できることは、地産地消や食農教育の根幹をなすものです。

田植えを体験した子供達は、「初めて田植えをして、泥だらけになっちゃったけれど、とても楽しかった。自分達で植えた苗が大きくなったら早く食べてみたい」と話してくれました。



田植えをする5年生たち

美里町ブルーベリー出荷始まる

美里町果実生産販売組合ブルーベリー部会の会員らが、JA美里万葉の里直売所などに出荷し、人気を集めています。

美里町の同部会副会長の茂木儀春さん(76)のブルーベリー畑では早生種の大粒の実が色づき、6月上旬から直売所や市場に出荷しました。約50アールの圃場（ほじょう）に早生種と晩生種の5種類を栽培し、肥料や農薬は使わない自然栽培にこだわっている茂木さんは「大きい実を作るための剪定が難しい」と話し、「今年もおいしいブルーベリーができた。安全・安心なブルーベリーを生産しているの、ぜひ美里町に来て買い求めてほしい」と自信を見せました。

栽培品種は、早生種の「ウエイマウス」や晩生種の「ティフブルー」など約15種類。各農園で新品種の導入も進めています。収穫は6月上旬から9月で、長く楽しむ事ができます。



収穫する茂木儀春(もてぎ・よしはる)氏

JAアグリパーク上里直売所で上里町がクラウドファンディングの寄付を募る

上里町は、6月2日の降りようで農産物や農業施設に大きな被害を受けた農家を支援しようと寄付サイトを立ち上げ、ふるさと納税制度を利用したクラウドファンディングで寄付を募っています。

町総合政策課が窓口で現金でも募っており、100万円を目標に9月11日まで寄付を受け付けています。

県北部を襲った降りようで、収穫前の農作物や農業施設が甚大な被害を受け、県は被害のあった18市町を「特別災害」に指定しました。上里町でも、麦、ナシ、トウモロコシなどの農産物や農業用ハウス、畜舎、倉庫などに大きな被害があり、被害見込み額は4億8300万円に上ります。

18日、同町は支援の輪をさらに広げることを目的に、被災農業者支援PRイベント「がんばるべ、かみさと」を開催。県外の人が多く集まるJA埼玉ひびきの農産物直売所「アグリパーク上里」と関越自動車道上里サービスエリアで、降りよう被害を受けた上里産「たまねぎ」を無料配布し、クラウドファンディングの寄付を呼び掛けました。



来店者に被害状況やクラウドファンディングの説明をするアグリパーク上里の根岸一帆マネージャー(左)



地域の皆で田植えを体験！

6月19日、美里町木部地内の有志による田植え体験のイベントが挙行政され、沢山の方々が参加されました。

このイベントは、遊休農地の解消と地域活性化を目的に地域内の農家のご協力をいただき実施されました。

皆さまにご指導いただき、初めての田植えに興味津々で元気いっぱい田植えを楽しみました。

参加した子供達は、はじめは靴を履いたまま田んぼに入っていましたでしたが、靴が田んぼにはまり動きづらい事に気付いき、最後には裸足で田植え体験に臨んでいました。



田植えを楽しむ参加者

胡瓜の収穫体験開催

JAあおぞら館直売所は、7月2日、本庄市内の生産者の畑で、胡瓜収穫体験を開催し、8組12人が参加しました。

当日は天候に恵まれ、日差しが強く、熱中症に注意をしながら、胡瓜の収穫方法について説明を受け、収穫した胡瓜を入れるビニール袋と収穫用の鉢を受け取り、収穫を楽しみました。



大きいのが採れました

参加者達は、初めて収穫体験をされる方もいて、「新鮮な胡瓜には棘が沢山ついていて、収穫するのに注意が必要ですね、でも自分で収穫するのはとても楽しい」と話し、ビニール袋がいっぱいなるまで、詰め込んでいました。

収穫を終えた参加者は「そのまま生で食べたり、もろみ味噌やマヨネーズをかけて食べたり、細く切ってちくわの中に挿し込んだり、用途は色々あります。沢山収穫出来てお得感満載でとても嬉しい」と話しました。

農産物直売所イベント花盛り

JAは、7月2日から7月31日にかけて各種イベントを開催しました。

本庄あおぞら館では、7月2日・3日にメロンフェア、沢山の品種のメロンを販売しました。同日、こだま館・かみかわ館では、メロン・トウモロコシフェア、美里万葉の里直売所では、各種フルーツフェア、7月2日アグリパーク上里でもフルーツフェアを開催（名物くだものおじさん登場）しました。

7月9日かみかわ館でフルーツ・メロンフェア（名物くだものおじさん登場）を開催しました。7月16日・17日・30日・31日美里万葉の里直売所でブルーベリーまつりを開催しました。各イベントも多くのお客さまにご来店いただきました。また、7月16日には美里万葉の里で「ブルーベリー収穫体験」を開催しました。



直売所イベント風景

知らないと困る！消費税インボイス制度

～農業経営への影響～

JAは7月5日、本庄農林振興センターとタイアップし、JA埼玉ひびきの本店 ひびきのホールで「知らないと困る消費税インボイス制度」農業経営への影響」と題して、農業経営研修会を開催し約100名が参加しました。

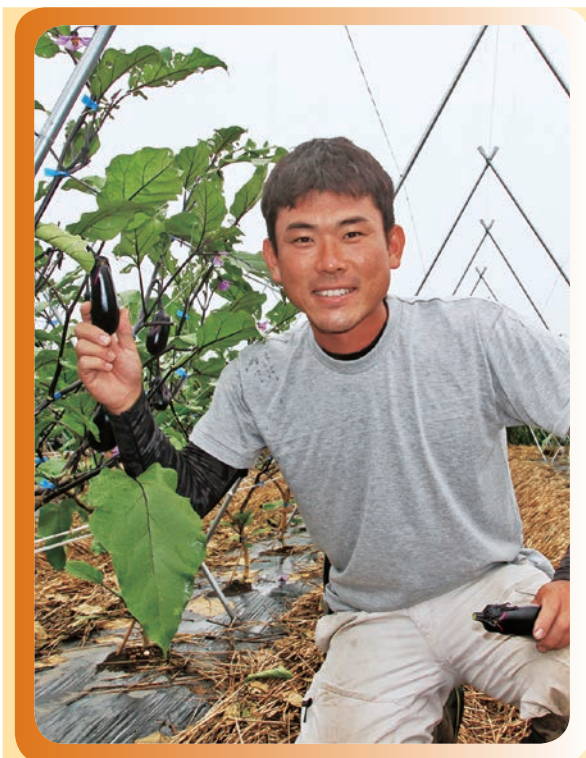
講師には、税理士の大久保秀彦氏をお招きし、本庄農林振興センターからの挨拶とJAからは五十嵐雅樹常務の挨拶のあと研修会に入りました。インボイス制度（適格請求書等保存方式）とは、売手が、買い手に対し正確な適用税率や消費税額等を伝える為の手段であり、買手が仕入税額控除の適用を受ける為には売手から交付を受けた「適格請求書」等の保存が要件となります。

これをインボイス制度と言います。適用開始日は令和5年10月1日からとなります。

参加者は、講師の話聞きながら資料に目を通し、真剣な表情でメモを取っていました。



挨拶をする五十嵐常務



農を担う!



美里町駒衣 福島 史昭さん (36)

福島さんが就農したのは、約10年前の26歳の時、地域の農業に興味を持ち、農地を借りて農業を始めました。

当初は、地域の農家の人にアドバイスをもらいながら、農業を行っていましたが、10年の時が経過した現在は、ナス10a・トウモロコシ80a・ネギ40a・ブロッコリー250aを手掛けています。

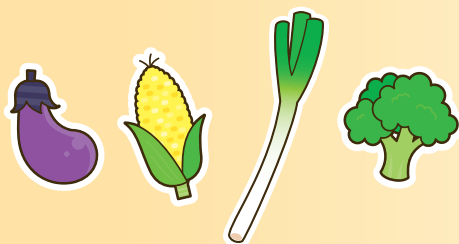
販売先は、JAに出荷し、JAの直売所等にも出荷しています。

栽培へのこだわりは、「堆肥を多めに入れた土作りを行い、野菜栽培に対し愛情を持ち心を込め、食味の良い野菜を目指しています」と話し、将来に向けての農業経営は、「気候変動で沢山の被害が発生している中、安定収量を確保する為に、農業の技術を向上させて行きたい」と話してくださいました。

農業の魅力は、「計画通り収穫できた時にやりがいを感じ、自分で育てた野菜が、お客さまに「美味しい」と言われた時が一番の励みになります」とお話しくださいました。

趣味は「日本100名山を登る事。下山後は各地の温泉で疲れた体を癒しています。最近登った妙高山はとても素晴らしかったです」と楽しく語られました。

これからも趣味に農業に頑張ってください。



旬! ナビ

埼玉ひびきの管内各地区より旬の農産物のオススメ情報を発信します!



本庄地区より オクラの紹介

本庄地区で栽培されている「オクラ」が旬を迎えています。

オクラは栄養素がいっぱい! 第1に「カルシウム」!

オクラ100gあたり、92mgのカルシウム含まれています。牛乳に含まれるカルシウムが100gあたり110mgなので、野菜としては多くのカルシウムを含んでいます。次に「βカロテン」も体内で「ビタミンA」に変換され、視力や粘膜の健康を維持するほか、髪や皮膚の健康維持と言った美容面にも効果的です。オクラに含まれるβカロテンが、レタスのおよそ3倍以上も含まれているそうです。

生産者の皆さんが、丹精込めて作った、栄養豊富で夏の食卓にピッタリで、数多くの料理に使えるオクラ。JAあおぞら館等で販売していますので、是非ともご賞味ください。



なかよし夫婦!



高山さんご夫婦は、ご結婚58年を迎えた「なかよし夫婦」です。

現在お二人は、秋冬ブロッコリー8a・カリフラワー2a・春ブロッコリー5a・枝豆4aを作付けしています。

ご主人は、盆栽を育てる事と旅行が大好きです。奥様は、花を育てるのが大好きで、色々な所で気に入った花があると買い求め、自宅で育てています。奥様は、「自分で手を掛けて育てた花卉が、綺麗な花を咲かせた時が一番いやされる」と笑顔で話されました。

お二人が一番楽しかったことを伺うと、「結婚してから50年以上暮らしている中で、2人で新幹線に乗って北海道へ旅行に行った事が一番楽しい思い出となっています。函館に泊まり、夜景を見に行ったりした。昼間は観光タクシーに乗り、綺麗な風景や美味しい海の幸を、沢山食べた事が思い出されます」と思い出を語ってくれました。とても仲の良い素敵なお夫婦です。これからもお元気で過ごしてください。



本庄市西五十子

たかやま かずお
高山 一男さん (85)

すみこ
澄子さん (81) ご夫婦

我が家の元気っこ



野上さんご家族は、お父さんの雅貴さん、お母さんの千絵さん、長男の隆盛くん、次男の律月くん、三男の莉碧くんの5人家族です。温かく迎えてくださった野上さんご家族。

母の千絵さんに、子供達の趣味や得意なことをお聞きすると「長男の隆盛は、バスケットボールが好きで、毎週練習に通っています。次男の律月は、家庭などの廃材で色々なものを製作する事にはまっています。三男の莉碧は、最近寝返りがうてるようになり、日々成長を感じます」と子供達の成長を楽しく語ってくれました。

今、家族での一番の楽しみは、とお聞きすると「皆で遊ぶ事、夏は、海や川でカニや魚を捕ったり、冬は群馬県の水上町などへ行き、雪遊びを楽しんでいます」

「両親から子供達に期待する事は「兄弟仲良く元気いっぱい成長してほしい」と思いを語りました。

お庭や、お家の中で、元気に飛び回り、お父さんとお母さんと、皆で楽しく遊んでいる野上さんご一家。とても仲の良いご家族でした。

神川町四軒在家

野上 隆盛くん (8歳)
律月くん (4歳)
莉碧くん (0歳)

生き活き WOMEN 女性部

骨盤体操教室開催

J A本庄地区女性部（八木かずえ部長）は、6月14日、J A埼玉ひびきの本店ひびきのホールにて骨盤体操教室を開催し13名が参加しました。



講師に、染谷信子先生を迎え、骨盤調整ストレッチについて指導を受けました。

指導内容は、骨盤を中心にストレッチを行い、全身を整えたり、体の知識を分かったうえで、インナーマッスルをしっかりと鍛えたり、腹筋をリリースしたり、体の歪みを整えるものでした。

参加者からは「体が楽になってとても気持ち良かった、またやってみたい」「ヨガと似ているように思えた」「公民館でもやっている事だったので、日程が合えばまたやってみたい」と話し、「骨盤の位置やインナーマッスルなど、今まで気がつかなかったけど、今日習ったことを意識して家に帰っても実践したい」と話すなど、沢山の高評価をいただきました。



レッスンを受ける参加者

手芸教室開催

J A児玉地区女性部（金子芳江部長）は、6月23日、J A児玉支店2階会議室にて、手芸教室を開催し26名が参加しました。



講師は、J Aの担当者がつとめ、和気あいあいの中作業は進みました。

家の光手芸教室のテキストを参考に、「モールで作るチューリップのリース」を作成しました。

資材には、ひょうたんモールや一分モール・ロングモールなど色とりどりのモールを使い組み上げていきます。

モールで花と茎を作り、土台に合わせ、最後にバランスを整えて完成です。花の色や付ける位置によって雰囲気が変わり綺麗に仕上がりました。

参加者は、「かわいいチューリップが出来て良かった」「梅雨で気分が落ち込みがちだったが、リフレッシュになった」と話してくれました。



皆で楽しく作りました。

バザー&フードバンク活動

J A美里地区女性部（根本孝代部長）は、7月17日に美里万葉の里直売所で14名が参加して、バザー及びフードバンク活動を行いました。



バザーは今年初めての取り組みで、直売所のブルーベリー祭りに合わせて開催され、大勢のお客さまが来店され、バッグや食器、洗剤など家庭で不要になった品物を部員が持ち寄り、低価格で販売しました。

フードバンクは、家庭から出る食品ロスを見直し、生活に困窮する人へ食品を寄付する、「食」を守るための活動です。米や乾麺、缶詰、レトルト食品などが寄付されました。

この活動はSDGs（持続可能な開発目標）の17の目標にもちなんだ取り組みで、バザーの売上の一部は社会福祉協議会へ寄付し、フードバンクで寄付された食品はNPO法人フードバンク埼玉へ寄贈されます。

お客さまからは、「直売所が賑わっていて、いい取り組みだと思ふ。定期的開催してほしい」とお話いただきました。



みんなで頑張ります

伝統食教室開催

J A神川地区女性部（茂木八千代部長）は、6月24日、本店調理室において、伝統食教室を開催し、女性部19名と事務局2名が参加しました。



講師に女性部の伊藤たい子さんを招き、祝事等に食べられる（赤飯・けんちん汁・山菜おこわ等）を作りました。

主に、赤飯を食べる節目の日は、元旦・成人の日・桃の節句・春のお彼岸・端午の節句・お盆・敬老の日・秋のお彼岸・大晦日等、この他にも各地域で色々な行事の中で食べられているようです。

女性部では、地域の食を作るカレンダーのアイデアを令和3年7月から募集し、今回から順次各地域の郷土食を作っていきます。

「地域の食を繋ぐカレンダー」（仮称）については、地域の季節の行事に伴う伝統食や郷土料理を次世代への継承を目的に、各地区にてメニューを持ち寄り、本店調理室で実際に調理し、できた料理を掲載用に楽しく撮影しています。



講師の伊藤さんの作業を見つめる参加者

1 栽培のポイント

生育期間中は猛暑や集中豪雨などにあいやすいので、病気や生育障害が発生しにくい環境を整えておきましょう。

(1) 明きよの設置や畝立て等の排水対策

(2) 根張りを改善し、生理障害の発生を軽減する土づくり

- 土壌診断に基づく施肥設計により、適正な土壌pH6.0～6.5に調整し、無駄のない施肥で窒素過剰を防ぐ。
- 堆肥の施用や緑肥作物の導入、土壌改良資材の活用
(例) 微量要素補給の資材：マルチサポート1号 (60kg/10a)

2 病害対策

9～10月は病害が発生しやすい時期です。病害対策として予防散布や排水対策を行いましょう。

(1) 黒腐病 (細菌性病害)

主に下葉で発生し、くさび型の病斑ができます。多発すると花蕾が黒変します。発育適温は30～32℃と高いですが、**9～10月の気温が比較的低い年は発生しやすくなります**。主な伝染経路は傷口で、土壌中の菌が風雨やかん水等で跳ね上げられ感染します。台風の後など強風雨によって茎葉の損傷が見られる場合は薬剤防除を行いましょう。



写真1 黒腐病のくさび型病斑
写真提供：HP埼玉の農作物病害虫写真集

(2) 花蕾腐敗病 (細菌性病害)

花蕾に細菌が感染して腐敗する病害です。**気温が10～20℃で発蕾時期に曇雨天が続いた場合に発生が多くなります**。窒素過剰や水分過剰は発病を助長します。発生が懸念される場合は、カルシウム剤の葉面散布や外葉形成期からの予防散布を行いましょう。

(3) 黒すす病 (糸状菌病害)

葉に円形で褐色から黒褐色の病斑を生じ、しばしば輪紋状となります。花蕾では黒色すす状のかびを生じ、進展すると花蕾が黒褐色に腐敗します。発病適温は25℃前後で**9～10月の高温多湿条件で被害が出やすく、風雨や土壌の跳ね上がりで伝染します**。発生が懸念される場合、生育初期からの予防散布が有効です。

3 害虫対策

定植前には、ほ場周辺の除草を行い、害虫の生息場所をなくしましょう。育苗後期もしくは定植後には、コナガ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガやネギアザミウマを対象とした薬剤防除を実施し、本ぼでの被害抑制に努めましょう。なお、**薬剤効果は定植後2～3週間で低下する**ので、食害に注意して、適期に防除を行いましょう。



写真2 ネギアザミウマの被害
写真提供：HP埼玉の農作物病害虫写真集

市街化調整区域の農地を貸したい 貸し借りは農業委員会の許可が必要

Q1 離れて暮らす父が亡くなり、市街化を抑制すべき区域とされる「市街化調整区域」の農地を相続しました。離れた場所にあるなどの理由もあって、自分では耕作できないので、他人に貸そうと思っています。有料にしようか無料にしようか迷っているのですが、それによって農地法の規制に違いはあるもののでしょうか。許可など必要な手続きや留意した方がよい点などがあれば、教えてください。もし、農地を返してほしくなったときは、返してもらえるのでしょうか？

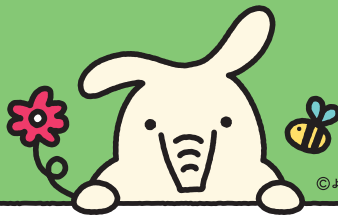
A1 農地を貸し借りするときは、原則として農業委員会の許可が必要です（農地法3条）。この点は、有料（賃貸借）でも無料（使用貸借）でも同じです。しかし、貸し借りの終了や借主が死亡した場合は、賃貸借と使用貸借で違いがあります。賃貸借では、原則として、都道府県知事の許可を受けなければ、契約の解除、解約の申入れ、合意による解約、更新しない旨の通知ができません（農地法18条）。契約期間の定めがあるときは、期間が終わる前の一定の時期に更新しない旨の通知をしなければ、同じ条件で賃貸借したとみなされます（法定更新。農地法17条）。借主が死亡したときは、賃借権は借主の相続人に引き継がれます。他方、使用貸借では、契約の解除、解約の申入れ、合意による解約について都道府県知事の許可は不要です。法定更新の制度はないので、更新しない旨の通知は不要です。契約期間の定めがあるときは、期間が終われば借主は農地を返さなければなりません（民法597条1項）。借主が死亡したときは、使用借権は借主の相続人に引き継がれずに使用貸借を終えるのが原則です（民法597条3項）。よりスムーズに返してもらいたいときは、無料（使用貸借）で貸す方がいいでしょう。

他人の土地でも下水管を通せる？ ライフラインは設置可能な場合も

Q2 私Aの自宅の敷地である土地は、Bの土地から分筆されました。A地は、公道に面していないので、B地の端の通路を通過して公道へ出ています。私は、来年、自宅の建て替えを予定しています。これを機に、下水管を引き込みたいと考えています。A地は、公道に面していないのでB地の通路部分に下水管を設置させてもらわなければならないようです。私は、B地の通路部分に下水管を設置させてもらうことはできますか。

A2 分割により公道に通じない土地が生じたときは、その土地の所有者は、公道に至るため他の分割者の所有地のみ通行できます（民法213条）。他人の土地を使わなければライフラインの引き込みができない土地の所有者は、他人の土地への設備の設置なども許されると解釈されています。これまでは、明文上の規定がなく応じてもらえない場合の対応に困ることもありました。そこで民法が改正され、他の土地に設備を設置しなければ電気、ガス、水道水の供給などを継続的に受けることができる土地に設備を設置する権利を有することが明文化されました（新民法213条の2第1項）。他人の土地に設備を設置したい土地の所有者は、当該土地の所有者に、あらかじめ、目的、場所、方法を通知する必要があります（新民法213条の2第3項）。改正民法の施行日は令和5年4月1日ですが、解釈でも認められているため、Bに対して、乙土地に下水管を設置することについて、目的、場所などの通知から始めるといいでしょう。なお、土地の分割によって生じた袋地ではない場合は、償金の問題が生じることがあります。

JAカード
限定



©よりぞう

2022年9月・10月は /

JA直売所のご利用が **15%おトク!**



JA直売所 (JAカード5%割引実施店舗) で、対象期間中にJAカードをご利用いただくと、ご利用金額合計の10%相当分*をポイント還元！
いつもの5%割引と合わせて、15%相当おトクにご利用いただけます！

*還元ポイントの上限は2,500ポイント (10,000円相当) です。

いつもおトクなJAカード特典！

JA直売所のご利用は請求時**5%割引!** ※一部対象外の店舗がございます。



期間限定キャンペーン

JA直売所のご利用金額の**10%相当**をポイント還元！

対象期間 **2022年9月1日(木)～10月31日(日)** 還元時期 ▶ 2023年1月

対象期間のJA直売所でのご利用金額合計の10%相当分から還元ポイント (4円で1ポイント) を計算します (小数点以下は切り捨て)。還元ポイントの上限は2,500ポイント (10,000円相当) です。
※ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。※還元金額はポイント交換でキャッシュバックをご選択された場合の金額 (1ポイントを4円換算で交換) を記載しています。

※本紙記載の情報は2022年5月時点の内容です。特典については予告なく終了や内容の変更を行う場合がございます。
※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは本特典の対象外です。
※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等での支払いは、JAカードを登録されている場合でも本特典は適用されません。

埼玉ひびきのご来場者全員に粗品をプレゼント!!

農機大展示会

当日ご契約金額
10万円以上の方に
記念品をプレゼント!!

開催日

時間 午前9:00～午後3:30まで

8月27日(土)

ところ JA埼玉ひびきの
児玉ライスセンター



ご来場いただく方にコロナウィルス感染防止策のお願い

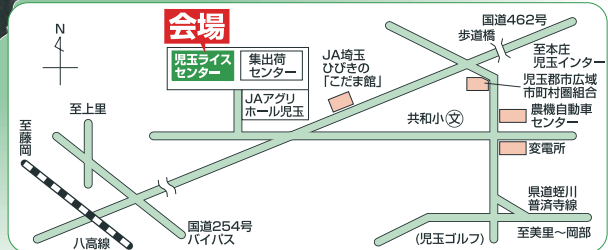


※マスク着用での来場をお願いいたします。※受付での消毒にご協力をお願いいたします。
※こまめな手洗いをお願いいたします。

経営規模に合わせてお選び下さい。

※上記商品につきまして、あくまで一例です。当日の展示を行っていない商品もございますので、予めご了承願います。

出品メーカー 三菱・ヤンマー・クボタ・イセキ・
やまびこ・丸山・麻場・関東フクサン 他



主催 JA埼玉ひびきの 農機自動車センター ☎0495-72-5307

※土日も営業しております。(※但し祝日はお休みです。)

「ご好評につき今年も実施！」

JAの自動車共済

お見積りキャンペーン

もれなく素敵な賞品をプレゼント!

自動車共済(保険)のお見積りをされると下記のお好きな賞品をプレゼント!



高級ボックスティッシュ
(賞状保潔3箱)



エリエール消臭トイレトイレットペーパー
(12ロール)

下記JA限定

お手間は取らせません。
「自動車保険(共済)証書」のみご用意ください。

- JAの自動車共済に加入していない車両の所有者でJAの自動車共済のお見積りをしていた方が対象となります。但し、過去にJAでお見積りをされていない車両に限りです。
- 後日ご希望賞品をご自宅までお届けいたします。
- 先着順のためご希望に沿えない場合があります。
- 本キャンペーンについては賞品がなくなり次第終了とさせていただきます。

キュウリの選別スタッフ大募集!!

《未経験者も安心の簡単作業》

時給960円 (土日祝は+50円!)

時間 9:00～17:00
※ローテーション ※時期により変動あり
 ※土日祝を含む交替シフト ※急な休みも応相談
 ※稼働期間:6月中旬～7月中旬・9月中旬～12月中旬

内容 キュウリの選別作業・箱詰め等
選果ラインも機械化されており、流れてくるキュウリを選別するだけの簡単作業です。

待遇 雇用保険・労働災害保険


応募 電話連絡の上、履歴書(写真添付)を持参下さい。

問い合わせ
本庄一元胡瓜部会選果機利用組合
 本庄市628-1 (JA埼玉ひびきの本庄営農経済センター内)
 TEL 0495-24-3288 (担当 小野塚・小暮・島田)

JA葬祭 アグリ倶楽部 会員募集中

入会申込み

- **アグリホール上里** 住所 児玉郡上里町神保原町764
電話 0495-35-3152 (24時間対応)
- **アグリホール児玉** 住所 本庄市児玉町蛭川285
電話 0495-72-8777 (24時間対応)
- **催事相談センター** 住所 本庄市北堀249-1 (分館内)
電話 0495-72-8778 (平日 8:30～17:30)



アグリ倶楽部会員入会のご案内

1度の入会金『1,000円』のみで、様々な会員特典が得られます。

【会員特典】

特典1 葬儀コース料金から**55,000円**を値引きいたします。(税込)

会員の皆様には、ご予算によってお選びいただけますよう、価格帯別の葬儀コースを用意させていただきました。
※火葬コースは除きます。

特典2 アグリホール使用料**55,000円**が**無料**になります。(税込)

コロナ感染防止対策も実施しており、安心してホールをご利用いただけます。

特典3 アグリ倶楽部提携店でさまざまな割引サービスが受けられます。

・馬車道グループ店舗(馬車道・徳樹庵・モダンパスタ等)での飲食代10%割引。 ※割引上限5,000円です。
 ・各地域で提携店があり、さまざまな割引サービスを実施しております。ぜひ、ご利用ください。
 ※提携店や割引内容については、お問い合わせください。

特典4 葬儀の事前相談や葬儀における諸手続きの相談とサービスが受けられます。

大切な方とのお別れは突然訪れます。もしもの時の準備と心の整理に…。

入会申込・問合せは……催事相談センター・アグリホールへ

あなたの資産活用をお手伝いします!!

住宅



**アパート
経営**



土地活用



相続対策



など…

**不動産のことでお困りのことは
ありませんか？**

お気軽にご相談ください。
親切・ていねいにお応えいたします。

JA埼玉ひびきの 資産相談センター ☎24-7768
本庄市北堀249-1 (本店分館内)

JA埼玉ひびきの 24時間365日受付ネットで事前審査

JAネット事前審査のご案内

マイカー
ローン



教育
ローン



フリー
ローン



リフォーム
ローン



無 料 必要書類なし 本申込に際し、安心

ご利用
までの
流れ

HPに
アクセスして
仮申込み

JAから
仮申込み諾否
をご連絡

JA窓口で
正式な
お手続き



▶今すぐアクセス! JA埼玉ひびきの <http://ja-hibikino.jp>

○お借入の際に、組合員外の方は出資金10,000円が必要となります。
(ローン完済後、払い戻しできます。)
○ローン商品の詳細については最寄りの支店窓口へお問合わせ、またはホームページでご確認ください。

みなさまの疑問や不安を何でもご相談ください。

無料相談会のご案内

相談希望日の1週間前までに企画総務課 (☎24-7711) もしくは、最寄りの支店窓口にてお申し込みください。 ※要予約・先着順

無料法律相談 (おひとり30分まで)
(会場: JA本店)

9月12日(月)・10月11日(火)
午後1時30分から

※ご予約後のキャンセルは、前日までにご連絡
いただきますようお願いいたします。

くらしの相談会

年金・ローン・共済・相続・葬儀 なんでもご相談ください。
【相談受付時間】午前9時～午後3時(予約制)
◎相談をご希望の方は最寄りの支店へご連絡ください。

神川支店

令和4年 **9月4日** 日

TEL **0495-77-2401**

住所 本庄市神川町大字関口83-1



本庄北支店

令和4年 **10月16日** 日

TEL **0495-24-1525**

住所 本庄市642-2



写真またはデータで応募してください!

ひまわり畑 フォトコンテスト開催

撮影場所：アグリパーク上里(東側 ひまわり畑)

開花予定：8月10日～15日
(天候によって左右されます。)

応募締切：8月末日

写真及びデータの提出先は
アグリパーク上里
アドレス chokuhan@hbki.st-ja.or.jp

上里町大字勅使河原1007-7 TEL.0495-33-6871

JA埼玉ひびきの アグリパーク上里



いちごオレの着色料さん

編 素晴らしい朝を迎えて最高ですね！

ひびきの通信

今月のテーマ

夏の楽しみ方

*イラスト・コメントを掲載させていただいた方には、JA商品券をプレゼントいたします。

編 涼しさを感じます。羨ましい限りです。

茶介さん

★風鈴の音を聞きながら、冷えたビールと枝豆です!!

編 全力で頑張って皆さまに情報をお伝えしてまいります。

仕事人さん

★JA広報誌は、毎回楽しく拝見させていただいております。今後地元の色々な情報を迅速にお願いしたいと思っております。

編 大賛成です。好きな映画を見たいです。

田端 松雄さん

★暑い外に出ない事（冷房の効いた所で読書とか映画を見る）。

編 夏にびったし爽やかでおいしそうです。食べてみたいです。



みかんさん

編 健康が一番です。体調にお気を付けて頑張ってください。

小林 武さん

★年老いた父と一緒に農業経験を積み畑仕事を一通り覚えるため、2年早く教員を辞めました。しかし、1年もたないうちに父は亡くなり、わからないことだらけのまま、独り農業がスタートしました。幸い多くの方が力を貸してくださり、味方してくださるので、なんとか経営が成り立っています。昼間は小学校で教員の仕事をし、朝夕、休日に畑へ出るという形の『二刀流』の働き方は、やかもすると無理がたたるので、試行錯誤しながら持続可能な形を探っているところです。

編 大切な思い出をありがとうございます。優しさとおもしろさが溢れています。3人で夢の国へ遊びに行き楽しんでください。



さやじいさん

○10月号のテーマ○

「実りの秋」

秋は穀物や果物などの収穫が多くなる季節であると言われてますが、皆さまご自身やご家族の方で、1つの目標に向かって努力をされ、成し遂げられた事柄などでもけっこうです。身の回りにある「実り」を教えてください。

(例、収穫・試験の合格・ダイエット・旅行など)

イラストもお待ちしています。

ひびきの通信では、季節ごとにテーマを考えて、皆様からのイラストや写真、エピソードを募集しています。また広報誌やJAに対するご意見・ご感想や、テーマ以外のエピソードにつきましてもお待ちしております。

イラストやご意見等につきましてはクイズ解答用紙をご利用ください。イラストは原則こちらでお預かりし、返却いたしませんので、返却希望の方はその旨お書きください。

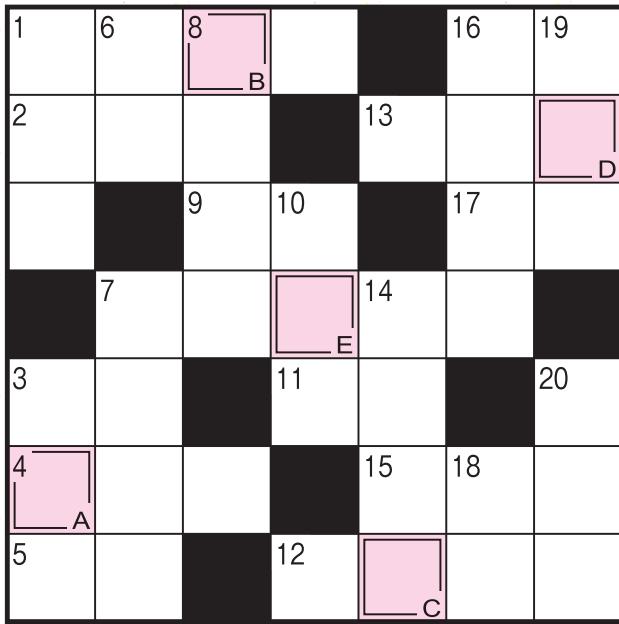
*フルカラーでご紹介いたしますので、きれいに描けたイラストは、FAXではなく原本をお送りください。

クロスワードパズル

パズルに答えて、JA商品券をゲットしよう！

JA商品券は、当JAの直売所やスタンド、営農経済センターなどでご利用いただけます。

出題：ニコリ



二重枠に入った文字を、A→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

☆ヒント☆
踊らにや損々

6月号の答え

ラベンダー
A B C D E



応募締切：8月19日(金)必着

タテのカギ

- ① 東海道新幹線の愛称の一つ
- ③ 天気予報で使う単位はヘクトパスカル
- ⑥ 食事の——にしっかりと手を洗った
- ⑦ ゾウガメのように水の少ない所でも暮らせる亀
- ⑧ 綿あめの芯棒に使うことも
- ⑩ お化け屋敷で——満点の演出を楽しんだ
- ⑭ 胸びれを広げて滑空します
- ⑯ 東北三大夏祭りの一つ、秋田——祭り
- ⑰ 固体と液体を分ける方法の一つ
- ⑲ マンションの賃貸情報に載っています
- ⑳ 「姿勢が悪いよ」と言われやすい体勢

ヨコのカギ

- ① 夏に咲く黄色い花
- ② 行きは良い良い——は怖い
- ③ レタスやゴボウは——科の植物です
- ④ すし屋の符丁でお茶のこと
- ⑤ 能あるタカは隠してる？
- ⑦ 北海道の北部にある島。昆布やウニが名産品です
- ⑨ 停留所に止まります
- ⑪ 漢字などの横に小さな文字で振ります
- ⑫ 海からそよそよと——が吹いてきた
- ⑬ 英国の通貨単位です
- ⑮ 魚の下ごしらえをするときに取ることもありま
- ⑯ 草を刈るときに使います
- ⑰ 翼を持っています

お知らせ

公式ホームページからの解答も受付いたします。お問い合わせフォームから「お問い合わせ内容」欄にクロスワードパズルの答え（匿名希望の場合はペンネームも）を入力し、送信してください。住所・電話番号は、必ず入力してください。お送りいただいた解答に個別の返信はいたしません。当選者については、誌面にて発表いたします。

応募方法

解答用紙にクロスワードパズルの答え・住所・氏名等をご記入の上、最寄りの支店へお届けください。左記住所への郵送やFAXでも構いません。
10月号誌面にて当選者を発表いたします。

抽選で10名様にJA商品券をプレゼントいたします。ご応募お待ちしています。

本庄市早稲田の杜14-1
JA埼玉ひびきの企画総務課まで
FAX番号 049512311718
● 締め切りは、8月19日(金)です。

【個人情報の取扱い】

皆様からの応募等による個人情報につきましては、一部本誌への掲載と商品券発送以外の目的には使用いたしません。あらかじめご了承ください。

6月号当選者

おめでとうございます！

- たけちゃんさん (本庄市)
- 栗 パ パさん (本庄市)
- モ リ コさん (本庄市)
- 心 音さん (上里町)
- ジ ョ ニ ーさん (美里町)
- ト ン ボさん (美里町)
- 田 島 雅代さん (本庄市児玉町)
- コバエトブルーさん (本庄市児玉町)
- 小林 香さん (神川町)
- 中里和枝さん (神川町)

アガベフエロックスギガンティア

〔龍舌蘭〕 開花！

本庄市在住の「塩原和幸」さんから「珍しい花が咲いています」とのご連絡をいただき、取材に伺うと、葉は肉厚で5〜10センチ、幅も約20センチと広く、長さも1メートル〜1.5メートル、葉の先に長い鋭い棘がある、アガベフエロックスギガンティア（日本名は龍舌蘭）が開花していました。

この花は、数十年に1度花を咲かせ、巨大なアスパラガスを連想させる花茎は、約7メートル程ととても長い。蕾はバナナのような形で、花の色は黄色で放射状に広がって咲いている。花茎が伸びて、蕾が出揃うまでに約50日くらい、それから、さらに20日程で開花する。開花後は1週間程で枯れてしまう。素晴らしい花を拝見できました。



常務理事

五十嵐 雅樹

常勤役員の よもやまトーク

異常気象による災害が起こり収穫間近の農作物が大きな被害を受けています。何か月もかけて丹精込めて栽培した農作物が、一瞬にして収穫できなくなってしまうのは本当に残念です。

6月2日のひょう雪も管内に大きな被害をもたらしました。県や市町の救済措置も始まりましたが心情的には悔しい思いが残ります。気持ちを切り替えて秋冬野菜の作付けに取り組みしましょう。

編集後記

世界では、けつて行つてはならない戦争が現実起きています。その影響を受け、経済危機を迎えている国々が数多く存在しています。わが日本もアメリカ国内のインフレ対策等により、FRBによる利上げが実施され、その煽りを受け、円が売られドルを買い進み、円安が進んでいて、日本経済も大きな影響を受けています。

一時、ワクチン接種の効果により、新型コロナウイルスが沈静化に向かっていますが、ここ数週間、猛威を振るい始めています。

JAは、これからも農業を応援し、組合員をはじめ、地域の皆様の、未来に繋がる情報をお届けできればと思います。

この「これからも広報」の「ひびき」をご愛読いただけたら幸いです。(H・Y)